

平成30年6月21日

各報道機関

旭川市永山支所長

「共生型コミュニティづくり事業始まる」について（報道依頼）

日頃から、本市行政、地域・まちづくりの取組にご理解とご協力をいただき、たいへんありがとうございます。

厚生労働省は、「地域共生社会の実現」の地域づくりを推進しており、それを受けて北海道でも今年度施行されました北海道地域福祉支援計画の中で、高齢者や障害者、子どもなどが地域住民とともに集い交流し、支援を必要とする方達がお互いに支え、支えられるような、「支え合いの場」を整備することで、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを推進しようとしています（＝共生型地域福祉拠点）。

永山地域では、地域提案をもとに、昨年度から準備が進み、本年度から、「永山地域コミュニティスペースづくり事業」が始まります。その第1回実行委員会を以下日程で開催します。

標記事業についての報道をよろしく願います。
なお、当日の取材につきましては、事前にご連絡いただけると幸いです。

＜永山地域コミュニティスペースづくり事業＞

国では、地域の様々な主体が連携し、地域の方々が自由に出入りでき交流できるスペースづくりとして、「共生型コミュニティづくり」の構想を進めている。また、こうした居場所づくりの課題は、国主導ではなくとも、地域から求められる大きな課題の一つである。このことから、地域の様々な主体が連携した「共生型コミュニティづくり」をテーマに、実行委員会を立ち上げて、永山地域としての「共生型・居場所づくり」事業を実施する。

＜第1回実行委員会について＞

日時 平成30年6月28日（木）14：00～

場所 有料老人ホーム 菜の花 多目的室
（永山8条13丁目8番23号 電話：0166-40-3100）

参集 地域・実行委員（10名程度） ※詳細は別紙「委員名簿」を参照ください。

内容 詳細は別紙「開催通知」を参照ください。

備考 東川養護学校の久保校長（※障がい者（児）と地域との関わり）、旭川市生活支援体制整備事業の九里地域支援員もゲスト参加予定

＜本件連絡者＞

市民生活部 旭川市永山支所

支所長 高桑智之

主査 大西忠行

職員 佐藤綾人

電話 48-1111直通

平成30年5月30日

永山地域共生型コミュニティづくり事業実行委員会

委員各位

永山地域共生型コミュニティづくり事業実行委員会
会長 高木 恵

平成30年度第1回会議の開催について(ご案内)

時下、皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。ご多忙中、お力添えいただき、誠に感謝いたしております。

さて、前回、準備委員会での主要結果を踏まえ、第1回会議では共生型の趣旨である、「地域に埋もれている社会的援助を必要とする方々」のコミュニティのあり方として、家庭の中心となる「親」を対象として、地域課題・現状把握のアクションプラン方法の策定について話し合っていきたいと思っております。今回は、ゲストとして東川養護学校校長 久保了乙先生もご参加いただき、永山地域に住まわれている障害をお持ちのお子さん(ご家庭)などの状況についてお話しいただけることとなりました。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、ご出席いただけますよう、お願い申し上げます。会議の議事につきまして下記の通りとなっております。ご都合によりご欠席されます場合は、会議前日の6月26日までに、高木(40-3100)までご連絡ください。

どうぞよろしく願いたします。

記

日時 平成30年6月28日(木) 14時00分～15時00分

場所 有料老人ホーム菜の花多目的室

議事 協議項目 (1)【報告】準備会の主要結果

(2)【審議】地域課題・現状把握

テーマ

～永山モデル地区での子育て世代の現状と課題調査のアクションプラン
について(1)～

- ① 障害者(児)と地域との関わりと課題について
- ② 情報収集の方法・調査方法について意見交換

(3)【審議】次回開催予定と内容について

以上

10) 永山地域共生型コミュニティづくり事業

事業計画書

(永山地域・共生型コミュニティづくり実行委員会)

事業名	事業の目的・内容
永山地域・共生型コミュニティづくり事業	<p>1 事業の目的 国では、3年後の平成32年度を目途に、地域の様々な主体が連携し、地域の方々が自由に出入りでき交流できるスペースづくりとして、「共生型コミュニティづくり」の構想を進めている。また、こうした居場所づくりの課題は、国主導ではなくとも、地域から求められる大きな課題の一つである。 このことから、地域の様々な主体が連携した「共生型コミュニティづくり」をテーマに、実行委員会を立ち上げて、永山地域としての「共生型・居場所づくり」事業を実施する。</p> <p>2 実施内容 事業目的達成のため、3カ年計画で進めて行く。本年度の実施内容は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施内容 共生型コミュニティのあり方検討 (構想策定) ・実施期間 平成30年度において6回程度 ・開催場所 交流センター会議室・菜の花会議室 他 ・実施体制 第三地区市民委員会, 第三地区社会福祉協議会, 永山西地区民生児童委員連絡協議会, 旭川大学, (株)菜の花, 地域住民, 永山まちづくり推進協議会委員 計10名 <p>・備考 本事業は3年計画であり、2年目、3年目の計画は以下。 平成31年度 地域住民アンケート, プログラム策定 平成32年度 共生型コミュニティ (試行)</p>
事業期間	平成30年4月10日から平成31年3月20日まで

事業収支予算

収入		(単位:円)	
区分	金額	内容	
補助金	20,000	旭川市地域まちづくり推進事業補助金	
計	20,000		

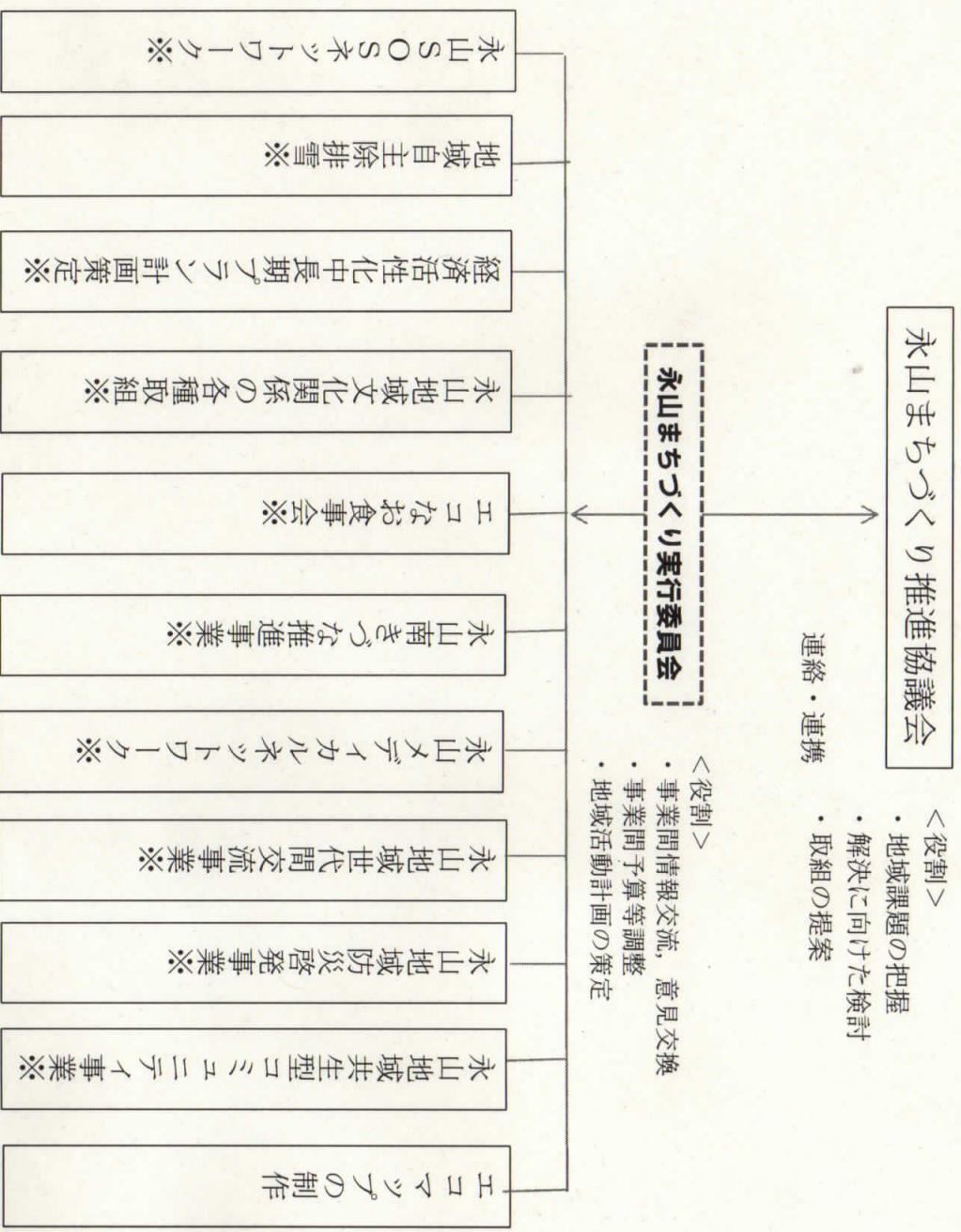
支出		(単位:円)	
区分	金額	内容	
消印費	14,000	会議資料作成 (用紙・トナー等)	10,000
会場使用料	6,000	永山市民交流センター (講堂) @1,000×6回	
計	20,000		

永山地域・共生型コミュニティづくり実行委員会 委員名簿

敬称略 平成30年4月1日現在

氏名	役職	所属団体・役職
高木 恵	会長	NPO法人ひととまち工房 代表理事 (現・株式会社明るい介護 取締役) 永山まちづくり推進協議会委員
中村 正義	監査	永山第三地区市民委員会 福祉部長
長谷川 純三	副会長	永山第三地区社会福祉協議会 会長
紙谷 忠志	委員	永山東地区民生児童委員連絡協議会会長
栗田 克実	委員	旭川大学コミュニティ福祉学科 准教授
真鍋 豪	委員	旭川市立永山小学校 校長
南 裕一	委員	旭川市立永山中学校 校長
谷越 美津子	委員	旭川太陽保育園 園長
福島 将恭	会計	永山地域包括支援センター センター長 永山まちづくり推進協議会委員
田中 誠康	委員	新旭川・永山南地区包括支援センター センター長
計		10名

4 平成30年度永山まちづくり推進協議会の事業実施体制一覧



※印は、包括型補助金（永山トライアル）の対象事業

※「エコマップの制作」は地域協働事業（行政提案型）（5月頃申請）に申請予定

共生型福祉拠点事業とは

【住民の集いの場】 高齢者、障がいのある人、子どもなどを含む住民が自由に集える「場」	多世代・多様な住民の交流する場
【人が集うための取組】 誰もが目的や役割を持って集うための取組（イベントやサークル活動等を含む）を行う	幅広い住民の参加を促す（役に立つ、活躍できる、楽しい）仕掛け
【助け合い・支え合いの取組】 住民が集う中で、介護保険などの制度サービスや既存の地域資源では補えない地域課題への気づき、課題（ニーズ）に応じた助け合い・支え合いの取組を行う	支えられるだけではなく、支え手ともなる（役割（活躍の場）、生きがい）

取組をコーディネートする人材のもと、あらゆる地域資源との連携
<行政、地域包括支援センター、制度サービス事業所、自治会、民生委員・児童委員、地元企業 etc・・・>

高齢者、障がい者、子どもなどが、地域の住民と共に集い交流し、支援を必要とする者等がお互いに支え、支えられながら、安心して生活することができる地域の構築
【共生社会の実現】